

下京のひびき

市民しんぶん
下京区版

9/15

推計人口 69,933人
男 32,580人
女 37,353人
世帯数 32,520世帯
(平成11年8月1日現在)



今年は国際高齢者年

高齢社会をすべての世代にとって豊かなものに

▶「グループホーム めくもりの里」の外観 8人の入居者が共同生活をしています



▶昼食の準備中

自分ですることにあわせて役割を分担します



▲各自の部屋があり、ゆったりと過ごすことができます

長寿化の進展に伴い、高齢者人口は急速に増加しています。下京区においても、65歳以上の方が全体の約22%と京都市の中で3番目に高い区となっています。

今回は、長寿社会に対応する新しいタイプの施設として注目されているグループホームのうち、区内の「めくもりの里」取材しました。この施設は、京都市が初めて運営費を助成し、痴ほうのある高齢者が、家族的な環境の中で共同生活を過ごすことができるよう、専門のスタッフが食事や入浴などの日常生活を支えるものです。

「共同生活をしている人には、無理強いや強制、制止をしない、一人ひとりの状態にあわせたケアを行っています。」

ゆったりとした環境と、いい人間関係の中で、穏やかに暮らすことが、お年寄りにとって一番のことではないでしょうか」と施設長の細井恵美子さんは話されました。

取材を終えて、ここには、自立しながら安心して過ごす高齢者の一つの暮らし方があるように思いました。

この9月15日は「敬老の日」、そして、今年が国際高齢者年です。皆さんも、この機会に長寿社会での豊かな生き方を考えてみませんか。

「ひとが元気」 長寿社会をいきいきと



京都市長
加藤 清

長寿社会は、お年寄りの方がこれまでの人生経験を生かして、こころ豊かに暮らすことのできる社会であり、すべての市民にとって大変喜ばしいことです。

京都市では、豊かで活力ある長寿社会を築くため、お年寄りの方々のための保健福祉施策の充実や健やかで生きがいのある暮らしの支援など様々な取組を展開しております。

下京区においては、老人クラブ活動など、生きがいづくりが市内でも先進的に展開されており、まことに心強く感じております。

今後も、下京区民の皆さんとのパートナーシップのもとに、いきいきとした長寿社会の実現を目指してまいります。



下京区120周年記念事業

紅葉の秋 伝統の文化に触れてみませんか

好評をいただいている「下京区民茶会」を平成11年秋に開催します。秋のひととき、名勝の庭園で伝統の文化に触れてみませんか。お気軽にご来場いただき、お家の接待をお楽しみください。

日時 10月16日(土) 正午〜午後2時30分
場所 東本願寺渉成園(枳殻邸)「臨池亭」



昨年の区民茶会

スポーツの秋 ゲームを楽しみ健康づくり

軽装で、スポーツが楽しめる健康づくりフェアー。2回目の今年は、テレビなどでおなじみのサッカーやゴルフ、バスケットのミニゲームなど、子どもからお年寄りまで楽しめます。皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 9月25日(土) 午前9時30分〜11時30分
場所 元安寧小学校グラウンド(雨天の場合は体育館)
参加費 無料



「天道神社」 弘光寺通猪熊西入 西田町
延暦13(794)年、桓武天皇の平安遷都とともに、当時の銅駝坊の南、三条坊門東洞院に二丁四面の社地を賜り、勧請鎮座されたのが始まりと伝えられる。

その後、度々の兵火のために焼失したが、天正2(1574)年、正親町帝の代になって、織田信長公から五条坊門猪熊



「中川四明句碑」 綾小路通大宮西入 光林寺
中川四明(紫明)は、明治の中頃、子規俳句の新しい息吹を京阪の地に初めて広めた俳人である。

四明は、嘉永3(1850)年2月、京の町奉行方、下田家に生まれ、まもなく定番方の中川家にはいった。維新後、



句碑には「同じ寺の土になる身と萩折して」と刻まれている。この句は、大正3(1914)年秋、蕪村一門で句三昧の生涯を送った、江戸中期の俳人炭太極の14回忌が、墓所であるこの光林寺で営まれた時、檀徒であった四明が詠んだものである。また、句碑の裏には、懸葵同人によって建碑のいきさつが記されている。

100歳おめでとう

今年度、下京区内で100歳を迎えられたのは、次の3人の方々です。

皆さん、100歳おめでとうございます。

室田はるさん (都文学区)

明治32年 5月26日生まれ

品川リウさん (成徳学区)

明治32年 7月4日生まれ

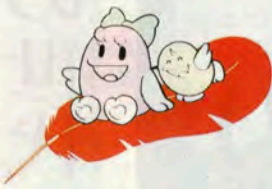
大塚りつさん (光徳学区)

明治33年 3月18日生まれ

地域や家族の輪でいきいきを

みんなのやさしさで みんなのしあわせを

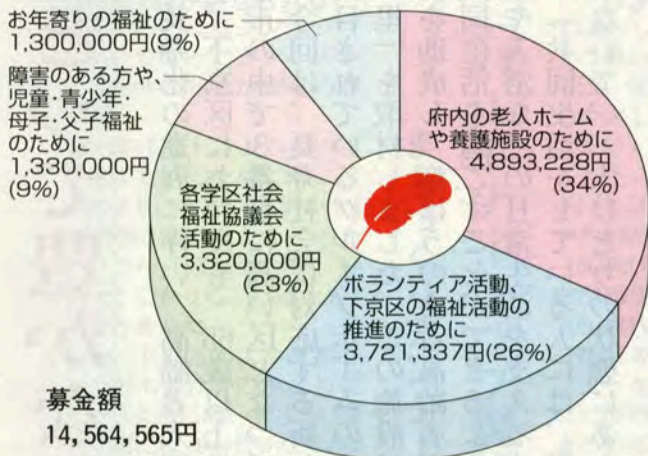
赤い羽根共同募金にご協力を



「二人じゃない、みんな一緒に生きていく」をスローガンに、今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。

共同募金運動は昭和22(1947)年に始まり、すでに半世紀を超えました。一人ひとりの小さな善意に育まれ、民間社会福祉活動を財政面で積極的に支えていくという、大きな役割を果たしてきています。昨年は、下京区で1千4百万円を超える募金が寄せられました。皆さんから寄せられた募金は、京都府共同募金会を

◇下京区の募金の使い道(昨年度)◇



児童の虐待 気付いたらすぐ連絡を！

小さな命が奪われないために

児童虐待は、家庭という密室で起るため、家族の問題と思われがちですが、時には、小さな命まで奪ってしまう深刻な問題です。

虐待かも知れない特徴

- ①顔や手足に傷やあざをよくつくっている子どもがいる。
- ②子どものひどい泣き声や親の怒鳴り声が頻りに聞こえる。
- ③衣服や身体がいつも汚れている子どもがいる。
- ④幼い子どもだけ家において頻りに外出している。

虐待が疑われる代表的な特徴ですが、あなたのそばでお気付きのことはありますか。子どもや家族が負う痛みは、対処が早ければ早いほど深くはなりません。「虐待かどうかよくわからない」「間違っていたらどうしよう」と不安に思わないで、すぐに関係機関へ連絡してください。連絡をいただいた方のプライバシーは守られます。

連絡先は、福祉部(福祉事務所)か市児童相談所(801・2929)へ。



information

お知らせ



9 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



下京あの日あの時

「運動会」地域の輪を伝える区民運動会。いろいろな競技に参加者も白熱します。昭和15年頃、成徳小学校（現成徳中学校）校庭にて。（長江治男氏所蔵）

下京区役所

(区民部・福祉部・保健部)

保健 351・7101
区民 351・9025
福祉 351・4439
福祉 351・8752

外国人登録の切替手続(確認申請)

切替手続期間の到来される方については、事前に案内のはがきを送付しますので、誕生日から30日以内に切替申請してください。申請は、外国人登録証明書、写真(縦4.5cm×横3.5cm)、旅券(お持ちの方のみ)を添えて必ず本人が行ってください。なお、切替申請は誕生日前には受付できませんので、ご注意ください。くわしくは、市民窓口課まで。

国民健康保険(国保) 加入の届出

は14日以内に
会社など、職場での健康保険など

に加入している本人とその被扶養者、生活保護受給者以外は、国保に加入しなければなりません。

乳幼児健康相談

日時 9月30日(木)・10月14日(木)
午前8時30分～10時
届出が遅れても、保険料は国保加入要件に該当した月までさかのぼって(最長2年間)お支払いいただきます。また、その間の医療費は原則として全額自己負担となります。

基本健康診断・肺がん検診

日時 9月20日(月) 午前9時～10時30分
費用 300円(要予約)
対象者 40歳以上の方

市民検診

日時 ①9月16日(木) 淳風小学校、②9月20日(月) 梅達中学校、③9月27日(月) 元格致小学校、④9月28日(火) 朱雀第三小学校、⑤9月29日(水) 朱雀第三小学校、⑥10月8日(金) 植柳小学校
いずれも午後1時30分～3時30分
費用 300円
対象者 40歳以上の方

献血

日時 ①9月28日(火) 醒泉会館(油小路通松原下る)、②9月29日(水) 淳風小学校、③10月4日(月) 光徳集会所前(坊城通五条下る東側)
いずれも午前10時～正午・午後1時～4時

急性灰白髄炎(ポリオ) 予防接種

対象 生後3月から生後90月(7歳6か月)までの乳幼児。対象者には、はがきで通知します。
日時 10月の毎週火曜日(5・12・19・26日) 午後1時30分～3時15分
費用 無料
その他 ポリオ生ワクチンは2回接種しないと十分な効果がありません。今回が初めての方は、来年の春にもう一度接種してください。

下京青年の家

314・5636
FAX 314・5640

フリーマーケット

日時 10月11日(月・振替休日) 午前10時～午後4時
内容 環境問題やエコロジーについて考えながらリサイクル活動を。

☆フリースタイルダンス

踊ることの楽しさを体験しながら、オリジナルのダンスを創造。
日時 10月1日～12月3日 毎週金

曜日 全10回 午後7時～8時30分
講師 ダンスインストラクター 武川哲明氏
費用 5千円
定員 20人(申込み受付中)

☆エアロビクス

有酸素運動をすることで体内の老廃物を取り除き、きれいになる。/
日時 10月7日・12月9日 毎週木曜日 全10回 午後7時～8時
費用 5千円(申込み受付中)
定員 20人(申込み受付中)
講師 エアロビクスインストラクター 松本三智江さん

その他の青年の家

西陣(451・6700)
☆環境教育リーダーワークショップ
☆船岡山フリーマーケット。
中京(231・0640)
☆演劇アドバンスユニット99参加者募集。*赤れんがプラザダンス公演、あーとらざいけはな展。
東山(541・0619)
☆芝居工房、パントマイム。
山科(593・4911)
☆茶道、エアロビクス、英会話。
☆自然食料理、タンベル体操。
南(671・0356)
☆家庭料理、エアロビクス。*フリーマーケット。
伏見(611・4910)
☆サルサ入門、中国語、スペイン語、英会話。*地域でできる国際交流。流布ランティスセミナー(15歳以上)。

下京図書館

351・8196
日時 9月16日(木) 午後3時～
内容 絵本の読み聞かせ「うさぎのダンス」・紙芝居「かぐやめ」・折り紙「かざるまであそぼう」
場所 1階幼児コーナー

敬老老人福祉センター

341・1730
日時 10月31日(日) 雨天決行
午前11時～午後1時30分
場所 千代田(西京区大枝西長町)
費用 大人 3千円(柿のお土産付き)、小学生 千8百円、4・5歳児 千6百円
定員 50人(先着順)
申込み 電話で受付
問合せ 京都市西部農業委員会(市西部農業指導所) 321・0551

ゆうゆう(くらしと健康) 講座

日時 10月8日(金) 午後1時30分～3時
場所 下京総合福祉センター(東本願寺北側) 3階会議室
講師 岡崎仁志氏(下京西部医師会) テーマ 生活習慣病としての虚血性心疾患・長年の生活習慣の積み重ねでおきる狭心症と心筋梗塞について、病気の原因や症状、最新の治療方法
費用 無料
申込み 不要
書道教室受講生募集
期間 平成11年11月～平成12年9月
日時 毎月第1・第3金曜日 午後1時～3時
場所 下京老人福祉センター
対象 市内在住60歳以上の初心者
受講料 無料(教材費などは実費)
申込み 10月1日(金)～9日(土)にセンターまで。ただし、申し込み多数の場合は抽選。

敬老月間記念行事

9月16日(木)～30日(木)の間、各教室・同好会の発表会や作品展示を行ったり、囲碁・将棋・卓球大会を開催します。

その他

☆西部農業ファンクラブ柿狩り体験
農園で柿の収穫を体験したあと、柿の葉ずし弁当を賞味します。

保護者相談会「出前教育相談」

子どもが生き生きとした毎日を送るために、保護者の役割として、何が大切なのかを考えるために、地域教育専門主事やカウンセラーが個別に相談に応じます。
日時 ①10月14日(木) 京都府中小企業会館、②10月18日(月) ヘルスピーア21、③10月22日(金) コミュニティ岬野。いずれも午後1時30分～4時30分(一人40分程度)
申込み 電話またはファックスで、開催日の7日前(必着)までに。
問合せ 市教育委員会地域教育専門主事室(254・5007 FAX 254・5008)

西大路駅周辺地区まちづくりシンポジウムを開催

10月7日(木) 午後6時30分から、祥豊小学校(南区)で、西大路駅周辺地区まちづくりシンポジウムを開催します。また、同地区のまちづくり構想に関する意見を募集します。くわしくは、市都市づくり推進課(222・3503)まで。

保育士アルバイト登録者募集

市営保育所での保育士事務代替等のアルバイト登録者を募集しています。(有資格者に限る)くわしくは、市保育課(231・2390)へ。



ルールを守り正しいマナーで交通事故防止

9月21～30日 秋の全国交通安全運動を展開

京のみち きょうも笑顔で チャイルドシート

9月21日(火)から30日(木)までの10日間、「京のみち きょうも笑顔で チャイルドシート」をスローガンに、また、高齢者の交通事故防止、シートベルトの着用の徹底とチャイルドシートの着用促進、飲酒運転追放を重点目標にした、秋の全国交通安全運動が展開されます。

下京区においても、期間中は区内の交通安全活動を行います。この機会に、ご家庭でも交通安全について、話し合ってみてはいかがでしょうか。



体育祭 各学区でにぎやかに (平成11年8月31日現在)

学区	月日	場所	学区	月日	場所
成徳	9/5(日)	成徳中学校	豊園	10/10(祝)	洛央小学校
皆山	9/26(日)	皆山中学校	開智	10/10(祝)	元開智小学校
七条第三	9/26(日)	七条第三小学校	淳風	10/10(祝)	淳風小学校
格致	10/3(日)	元格致小学校	醒泉	10/10(祝)	醒泉小学校
修徳	10/3(日)	成徳中学校	有隣	10/10(祝)	元有隣小学校
植柳	10/3(日)	植柳小学校	尚徳	10/10(祝)	尚徳中学校
光徳	10/3(日)	松原中学校	稚松	10/10(祝)	六条院小学校
七条	10/3(日)	七条小学校	菊浜	10/10(祝)	元菊浜小学校
崇仁	10/3(日)	崇仁小学校	安寧	10/10(祝)	元安寧小学校
西大路	10/3(日)	西大路小学校	大内	10/10(祝)	梅小路小学校
郁文	10/10(祝)	郁文中学校	永松	10/17(日)	永松体育館

防災クイズ

こんにちは、消ちゃんです。防災情報119、いつも読んでくれてるよね。今月は、消防署で教えてもらった「防災クイズ」だよ。みんなでチャレンジしてみてね。

B 車を左端に停車。盗難防止のため、必ずドアロックをしてから避難する。

Q4 電車で通勤の途中、急停車したぞ。地震だ！

A すぐに非常コックを開けて、車外へ逃げ出す。

B 乗務員の指示に従って騒がず、冷静に避難する。

Q5 家の中にいるとき、激しい揺れに襲われた。さて、どうする？

A 建物の下敷きになるのはいや。とにかく急いで戸外へ飛び出す。

B すみやかに火の始末。ガスの元栓、電気のコンセントなどにも気を配る。

クイズの答え

Q1「B」 ブロック塀や石垣は、倒壊の恐れがあり、電線は切れて落下すると危険です。

Q2「A」 ガラスの破片など、頭上からの落下物に注意しましょう。

Q3「A」 冷静に、カーラジオなどで情報を聴きましょう。避難する時は、車のキーはつけたまま、ドアはロックしないでお願いします。

Q4「B」 パニックに陥るのが最も

危険です。勝手な行動をせず、周囲にも冷静な行動を呼び掛けましょう。

Q5「B」 使っている火は、必ず消しましょう。座布団などで頭を守り、身の安全を確保することも忘れずに。



クイズの結果はどうでしたか。防災・救急に関する質問、相談、家庭や地域の身近な防災情報などを下京消防署企画広報係(☎361-4411)までお知らせください。

あっ、地震だっ！ どうする？
突然の地震です。あなたならどうしますか。A・Bどちらかを選んでください。

Q1 住宅街を歩いています。グラツときたその時、あなたは？

A 道路の端に寄り、ブロック塀や石垣に身を寄せる。

B ブロック塀や石垣、電線の下には近寄らない。

Q2 ショッピングでビル街を歩いています。あっ、地震だっ！ さあどう

する。
A 頭を鞆などで保護して、広い場所へ逃げる。

B 大きいビルは頑丈だから安心。ビルとビルの間や壁際に逃げて身を伏せる。

Q3 自家用車でドライブ中です。うわっ、ハンドルがとられる。地震だ！ こんな時は。

A 徐々に速度を落とし、車を左端に寄せてエンジンを止め、状況を確認する。

278件の回答が寄せられる

「下京区まちづくりシンポジウム」において行ったアンケート調査に、278件の回答が寄せられました。

その結果、『Q1、よりよいまちをつかっていくためには、どんな方法がよいと思いますか？』という質問には、ほとんどの方(98.9%)が、「区民や企業、行政が協力してやっていけばよい」と回答されました。

『Q2、下京区のような都心の貴重な樹木や社寺のみどりについてどのように思いますか？』という質問には、94.6%の方が、「みんなで協力して守り、うるおいのあるまちをつくりたい」と回答されました。

『Q3 区民同士やご近所とのおつきあいについて、どのように思いますか？』という質問には、97.1%の方が、「お互いの支えあいやふれあいを大切にしたい」と回答されました。

「パートナーシップ重視」は99%

まちづくりアンケート調査の結果

『Q4 まちのよいところやすばらしい伝統などについて、どう思いますか？』という質問には、96.8%の方が、「子どもたちや新しく住む人にも広げていきたい」と回答されました。

また、自由意見でも、「南北に歩ける道をつくりたい。木屋町や西洞院などで考えてみては」(60歳代・女性)や「空き地に自然再生実験園を開設しては」(60歳代・男性)、「市民や京都を訪れる人が利用できる情報センターを」(20歳代・男性)、「みこしや各地の祭りを中心としてまちの活性化を図る」(60歳代・男性)などたくさんのご意見をいただきました。

これらのご意見は、下京区基本計画策定懇談会で参考とさせていただきます。懇談会では、さらに多くの区民の皆さんのご意見をお待ちしていますので、ぜひ、事務局(区役所企画総務課)までお寄せください。

根強い人気、手編みの金網

湯豆腐すくい、焼き網、茶漉しなど台所用具として欠かせない金網。今も一つひとつ手編みで金網製品を作りつづけている鳥井金網工芸の鳥井幹司さんにお話を伺いました。

鳥井金網工芸は、古くから京都の大きい社寺の軒先を守る金網や、小さな家庭用のものまでを手掛けて百余年。銅線を亀甲編みで格子に編み込んでいく手技を受け継ぐ鳥井さんは四代目。20歳の頃からこの仕事に携わってこられました。

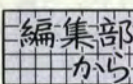


鳥井さんが制作する金網製品は、線は、用途に合わせて選びます。香炉の蓋や茶漉しなど、それぞれの木型に沿って編みながら丸みをつけます。一つひとつの手で、理のける数々の金網製品は、使い勝手のよさと修理のしやすさで、根強い人気を得ており、必要に応じて注文に応じてもらえます。

寧に編み上げ、仕上げも丹念にしてあるので、針金のでっぱりがなく手触りが滑らかで、素朴な温かみがあります。「銅線は柔らかいので、扱いやすいけれども、折れやすくもあるので、編み目をそろえていくのがむずかしいです」と話される鳥井さん。編み目がそろうまでに10年かかるそうです。



また、鳥井さんは、平安神宮や知恩院の大改修の時にも、山門の金網などの張り替えを手付けられました。「大工仕事などが終わった一番最後の仕事になるので、傷をつけないよう気を使いますが、それだけに一つひとつの編み目に力がこもりました」と微笑んでおられました。



季節は秋です。子どもたちの楽しい運動会もあります。でも…。やっぱり食欲の秋ですね。サンマに栗、柿や梨などおいしいものがいっぱい。おいしいものをおいしくいただく、何よりの幸せです。編集部では、皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。

送付先 〒600-8588 下京区役所企画総務課 下京のひびき編集部